

会 議 記 録

名 称	中央区基本構想審議会躍動部会（第1回）	
開催年月日	平成28年4月27日（水）19：00～20：30	
場 所	中央区役所本庁舎8階 第一会議室	
出 席 者	委 員	金井利之、中西史、石田善計、古屋勝彦、三田芳裕、松岡肇、森山照明、山本泰人、石田英朗、立川智誉、島田勝敏
	幹 事	長嶋育夫（区民部長）、高橋和義（教育委員会事務局次長）、濱田徹（企画財政課長）、園田典子（広報課長）
配布資料	中央区基本構想審議会躍動部会（第1回）次第 中央区基本構想審議会「躍動部会」委員・幹事名簿 中央区基本構想審議会躍動部会（第1回）座席表 資料1 本区を取り巻く社会経済情勢と新たな課題・方向性について 資料2 「躍動部会」における検討項目	
議事の概要	1 開会 2 議題 （1）副部会長の選出について （2）本区を取り巻く社会経済情勢と新たな課題・方向性について （3）「躍動部会」における検討項目 （4）その他 3 閉会	

1 開会

配布資料の確認。

2 議題

(1) 副部会長の選出について

金井部会長 副部会長の選任に当たっては、特に規定はないが、部会長からの指名でよろしいか。

(異議なし)

金井部会長 それでは学識経験者である中西委員にお願いしたい。
(全員の拍手により承認)

(2) 本区を取り巻く社会経済情勢と新たな課題・方向性について

(3) 「躍動部会」における検討項目について

事務局から資料1「本区を取り巻く社会経済情勢と新たな課題・方向性について」及び資料2「「躍動部会」における検討項目」を説明。

(4) その他

金井部会長 各委員が思い描く「20年後の中央区の将来像」や「将来像に向けた具体的な取組」など、自由な意見をお願いできればと思う。

森山委員 私は銀座生まれで銀座育ちの3代目である。中央区では良いマップがあるが、設置場所が分からない。現在は観光協会でしか手に入らないため、商店街連合会の各商店街に置き、商店街を回遊させる仕組みが重要である。日本橋、京橋のエリアマップを置くことで、来た人に回ってもらえ、商店街の活性化につながると思う。

昨今、印刷業は厳しい状況にある。区のイベントにおいて、印刷は工業団体連合会、商品は商店街連合会に依頼するなど棲み分けも必要かと思う。印刷・製本は区の地場産業であり、できるところが手をあげる方法をとればと思う。

ホテルの建設ラッシュがあり、外国人来訪者も増えると思われる。マナーの問題について、ホテルに中央区として「こうやってください」という資料を作って置く。デパート入口にもマップを置き、PRできれば、これまで以上に良いまちになると思う。

金井部会長 資料1の8ページに印刷業の詳細がないため、概要を説明いただきたい。

森山委員 中央区には日本橋支部、京橋支部の印刷組合があり、両方で160社ほどが加盟している。160社の印刷組合は全国レベル、県単位の工業組合であり、全国で8番目位になる。

山本委員 過去に捉われたまちとなつてはいけませんが、日本橋は徳川幕府からの歴史を背負っているエリア、銀座は文明開化から世の中をリードしてきたエリア、築地は江戸に近く、水運と結びついた歴史が深いエリアである。

六本木、秋葉原、新宿が賑わっていることは、世界の方々や日本人に認識があるが、歴史的、文化的な長い根を持つ中央区があり、東京都があるという認識が希薄である。100年以上続く企業は、日本で約2万2～3千社、2,000社が東京都、400以上が中央区にあり、構成比が高い。

事業所数だけでなく、歴史的所産をもっている企業の構成比が高いことも特色である。東京を支える中央区のそれぞれの地域が歴史を背負っている特色を未来に発信する必要があると思う。

今は自動車、徒歩、自転車もあるが、水運、船は過去50年間見過ごされている。適切に船の割合を増やし、船と自動車、自転車、人の動き、これらが融合してまち

全体で動きやすい環境をつくることが重要である。

石田(英)委員 躍動が何か考える中で、資料1の9ページ「文化振興、観光、国際・地域間交流」をうまくまとめた。特に「歴史と文化に根差した魅力溢れる観光資源や豊かな水辺」を活用したい。

歴史と文化の面では、建物などは震災や戦争でなくなっているが、江戸以来の伝統文化、古典芸能が残っており、発展させなくてはならないと思う。明治座、歌舞伎座、演舞場などの素晴らしい商業芸術が残っているため、行政がサポートして、芸術、文化で人を引き寄せ、まちを活気づけていければと思う。

次に、商業面では、中心部は銀座、日本橋など活気を取り戻しつつある。周辺部は住宅地となり、新しい住民が増えて活気づく一方で、商業面では課題もある。商業のまちとして、行政が指導することもあると思う。

また、新しい住民と従来からお住まいの方々との新しい都市型コミュニティの形成も課題である。町会活動に依拠する施策はあるが、マンション住民の取り入れ方は課題である。

立川委員 私は築地の独特の雑多な感じが良いと思っていて、移転後を気にしている。また、日本橋上の高速道路をなくす動きがあると聞いている。震災があった場合に高速道路が安全かどうか関心を持っており、地下に高速道路を通せば川の景観も楽しめると感じた。

外国の方が多く訪問されているので、子どもの英語教育では大人になってから苦労しないように、外国人の先生を受け入れて、さすが中央区出身と言われるように力を入れていただきたい。

島田委員 教育では人格の形成と社会を担う子どもたちを育てるということはどの時代も変わらない。そうした中でも、国際化など、これからの時代に合った教育をしなくてはと思っている。

中央区も英語教育、国際教育に力を入れているが、進めるためには日本の古来からの伝統文化の良さを再認識する視点も重要である。中央区には活きた教材が多くあるため、そうしたものも子どもたちに伝えていきたい。

また、中央区の小学校、中学校は地域に育てられながら共に歩んできた。新しい住民も学校を核にして共に地域コミュニティを形成していければと思う。家庭教育の問題も家庭、地域、学校が一緒になって考えていける取組をすすめられればと思う。

松岡委員 中央区の商店会に入っている33の商店街と6店の百貨店とともにオリンピックに向かった商業活動の進め方を考えてきた。外国の方だけではなく、地方、他区からも中央区への来訪者が多い。このような新しい方々に必要な対応は心からのおもてなしである。現在はネット通販で自動的に自宅に欲しいものが届くが、お店に来て品物を買うのは心のふれ合い、買い物の喜びがあるからである。

金井部会長 商業では様々な方が来ることが大きなテーマである。他区、全国から来る方をどのように計画で考えるかは重要である。

三田委員 部会は3つに分かれているが、それぞれに切り離せない繋がりがあるので他部会の内容も含めて議論しても良いと感じる。

資料1の2ページに人口の推移がある。私の生まれた昭和26年は人口16万人であったが、7万人を割るかと思える時代から復活し15万に近い人口となったが、まちは全く変わった。町屋、置屋、料理屋の多くがなくなり、芸者は150人から5人ほどに減ってしまった。昔は各地域に特色があったが今はほとんどなくなってしまった。20年後に産業の継続、振興は図れるのかと感じている。

また、昔は3世代の家が多かった。人口数は戻ってきているが、30代、40代のマ

ンションに移り住まわれた世帯、高齢者だけの世帯などが多く、どうしたらよいかと考えている。

家庭ではなく、地域で3世代をうまくつなげながら、60台、70代の方々の知恵や30代、40代の活力、子どもの育つ力を融合して、学校を中心とした広い、強いコミュニティを作れるのではないかと思います。中央区ならではのアイデアを駆使して、展開し、新しい10、20年後に広いコミュニティの中で3世代が上手に共存しながら、暮らしていくことはできないかと考えている。

もう1点は築地跡地の問題である。23haの敷地はミッドタウンと六本木ヒルズを合わせた広さである。中央区の特色である情報文化、歴史、スポーツ、そういったものの総合コンプレックスを作ればと思う。

金井部会長 経済の流れ、社会・家族のあり方は変わっている。その中で伝統を考えて別の形で残していくことは重要である。日本の自治体の最大の弱点は中央区にある土地の問題に区が十分な発言権を持たないことである。中央区でありながら中央区のことを知らない住民が増えることも悩ましい。

石田(善)委員 日本橋に関しては日本橋再生会議があり、区主導で進めている。舛添知事は高速道路の外環状を作った場合は内環状はいらなくなるため、その場合は日本橋の高速道路も撤去できると発言している。

問屋街の活性化ビジョンについて、マンション化が進み、間に合わないという意見もある。

それから、区内に根付く若手起業家の育成が何も書かれていないので、今後検討してほしい。

選手村跡地は住居地区になり、新住民が入ることとなる。新住民のコミュニティの作り方は検討をお願いしたい。

ボランティアの活用が出てこない。災害ボランティアだけではなく、育児、福祉関係、起業支援などがあってもよい。予算の削減も視野に、中央区内の奉仕を目的とする団体を活用するのも良いのではないかと思います。

最後に、町会の現状としては住民が減っている。私の所属している町会では住民世帯は2世帯、48世帯が事業者である。前例がないと思うが、従来の町会の住民中心のほかに、在勤者中心の町会を構想の中で若干でも活かしていただければと思う。

古屋委員 1つ目に、中央区の人口は15年で倍くらいになっており、今後も伸びていくことは大きな資産である。学校などの不足も言われているが、幸福であるということは認識してほしい。2つ目に、中央区ほどオリンピックに関われる区はない点も幸福なことである。さらに文化財の集積があることも幸福なことである。3つ目は、オリンピックレガシーについてである。選手村跡地にマンションが建ち、新たなまちができるというようにうまく配慮されているのは中央区だけだと思う。

このように躍動の素はたくさんあるため、現実のものにしていきたい。

中西委員 平成32年度から始まる次の学習指導要領では社会に開かれた教育課程として、地域との連携、社会・地域のニーズを学校教育の中に反映して、地域の方々と一緒に教育することとなっており、この点で、中央区は先取りしていると思う。

人口、若い方が増える一方、一人暮らしの高齢者の割合が多いという話があった。私は現在、自分の健康管理に責任がもてる人材を養成することをテーマとしており、観光と合わせることを考えている。今の小学校の理科教育は子ども自身が検証することを重視しており、身体の仕組みなど自身で検証できないことは扱えないことが海外と比べて弱いと思っている。中央区の売りとして、健康教育、先端医療、予防医療、オーダーメイド医療を観光の中に組み入れて取り組むことも面白いと思う。

徳川家康は自分の健康に配慮していたこと、また、日本食は健康食であることな

どもあり、展開があれば面白い。

金井部会長
山本委員

他に何かあればご意見をいただきたい。

地域コミュニティに関連して、月島剣友会を紹介する。剣道の大会で、子ども、両親と高齢者の3世代が参加し、子どもをしつける場面が見られる。剣道だけでなく、スポーツを使って、3世代の広域な地域コミュニティを形成し仲間となることができる。家族内におけるしつけ教育を同会に学ぶことができると感じた。

三田委員

本審議会話し合いの中で基本構想を固め、答申を出し、来年の6月に議会で承認を受ける流れであるが、あるべき姿の検討を進めなければならない。時代の流れは早く、役所のペースを上げないといけないのではないかと思う。区議の先生にもチェックしてもらい、展開してほしい。

島田委員

仕事の中で気づかない中央区の良さを聞かせていただいた。スピード感をもって、区民の要望に応えるよう進めたい。

3 閉会

金井部会長の閉会宣言により終了。